

千葉県版不登校対策指導資料集（概要）

目的

不登校に対する具体的な対策や未然防止に向けた様々な取組など、不登校支援に向けた内容を網羅的にまとめた教職員向け指導資料集を作成・配付する。これにより、各学校における不登校の対策や未然防止等の取組の充実、教職員の指導力の向上を図り、児童生徒が健やかに成長することができる環境づくりに寄与する。



資料集の構成・特長

第Ⅰ章 第Ⅱ章

不登校の現状
基礎知識

第Ⅲ章

未然防止

新たな不登校を
生まないための取組

第Ⅳ章

初期対応

気になる児童生徒や
休み始めへの対応

第Ⅴ章

自立支援

様々な事例への対応
社会的自立に向けた
支援

- ◇不登校に対する支援を中心に、生徒指導や特別支援教育に関わる内容、関係機関（福祉・警察・医療等）との連携、社会的自立へ向けた取組に至るまで網羅的に編集。
- ◇不登校支援への千葉県独自の取組を、第Ⅱ章を中心に各章にも豊富に掲載。
- ◇多くの事例から様々なケースへの対応のポイントを紹介。
- ◇図や表、写真を多用し、視覚的にも理解しやすく、研修会等でも使いやすいレイアウト。

第Ⅰ章 長期欠席・不登校等の現状 ・ 第Ⅱ章 千葉県教育委員会の取組

- 様々なデータから千葉県の不登校の現状を捉える。
- 千葉県教育委員会が行っている不登校支援への取組を掲載。

第Ⅲ章 新たな不登校を生まないために

- 不登校の要因や背景を具体的に捉え、なぜ新たな不登校を生まないための取組が必要なのかを押さえる。
- 新たな不登校を生まないために教職員が取り組むべき魅力ある学校づくりや教職員として必要な資質能力、魅力ある学級づくり、わかる授業、校内体制についての理解を深める。
- 学校と保護者、地域及び関係機関、さらには学校間や学校種間の連携について具体的な取組を紹介。

第Ⅳ章 初期対応（早期発見・早期対応）

- 早期発見と早期対応のための具体的な方法を紹介。
- 初期対応に必要なアセスメントや組織的対応の必要性、家庭への支援、養護教諭の果たす役割、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用についての理解を深める。
- 各市町村教育委員会に学校が毎月提出している「月例報告」を活用する具体的な方法を紹介。
- 「児童生徒理解・教育支援シート（試案）」の作成から活用のポイントを解説。

第V章 自立支援

- 「要因別ケース」と「要因が複数考えられるケース」に分けて、長期欠席・不登校の具体的な対応例を紹介。
- *要因別ケース：「無気力」「いじめ」「非行傾向」「発達障害」「家庭に係る要因（経済的な問題）」「家庭に係る要因（児童虐待）」「こころの病気が疑われる場合」「ひきこもり傾向」「自殺をほのめかした場合」「意図的な欠席」「居所不明」の全11ケース。
- *要因が複数考えられるケース：全6ケース。研修会等での活用を想定し、事例概要と対応のポイント等を掲載。
- 不登校から再登校に向けての考え方を押さえ、不登校児童生徒の受け入れ方や居場所づくりとしての別室登校、不登校対策推進校の取組、教育支援センター（適応指導教室）の概要等を紹介。
- 義務教育修了後の進路選択として、特色ある県立高等学校や通信制高校、サポート校、高等学校卒業程度認定試験を紹介。さらに、転退学時の対応や就労への支援について理解を深める。
- 社会的自立への支援として、進学や就労の相談先、フリースクールの活動等を具体的に紹介。

資料編

- 「児童生徒理解・教育支援シート（試案）」（文部科学省）や「見立てシート」「子どもを理解するための気になる児童生徒チェックシート」（いずれも子どもと親のサポートセンター）を掲載。なお、各シートはダウンロードして活用できるようにエクセルシート版をホームページに掲載予定。
- 各市町村等教育委員会が行っている「月例報告」のサンプルを掲載。
- 不登校等に関係する主な関係機関等一覧、各市町村等教育委員会が設置している教育支援センター（適応指導教室）一覧を掲載。

コラム

- 医師やフリースクール関係者等の専門家によるコラムを掲載。
「学校とカウンセラーの連携」「不登校児の不安とうつと」「地域若者サポートステーションの紹介」「フリースクールとは」
- 不登校の理解や支援に役立つ情報をコラムで紹介。
「長期欠席と不登校」「マズローの欲求階層説」「エリクソンの発達段階」「学校における有効なケース会議の持ち方」「1年以上居所不明児童生徒について」「学校教育相談の充実に向けて～校内体制の在り方について～」

周知・活用

- ◇県内の小・中・義務教育・高等学校及び特別支援学校、県内の関係機関に、平成29年度末に配付。
- ◇千葉県教育委員会ホームページ、子どもと親のサポートセンターホームページに掲載。
- ◇資料集の内容や活用方法についての「リーフレット」を作成。平成30年度の小・中・義務教育・高等学校及び特別支援学校の管理職や生徒指導担当職員、各市町村教育委員会指導主事、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等が出席する会議や研修会等で配付し、資料集の周知や利用を促す。
- ◇子どもと親のサポートセンター主催の研修で資料集を活用。
- ◇学校での校内研修等での活用に関する調査を実施予定。
- ◇期待される効果：教職員の指導力の向上。各学校における不登校に対しての組織的な対応の強化。関係機関との連携強化。